

経営比較分析表（令和3年度決算）

鳥取県境港市 大正町駐車場

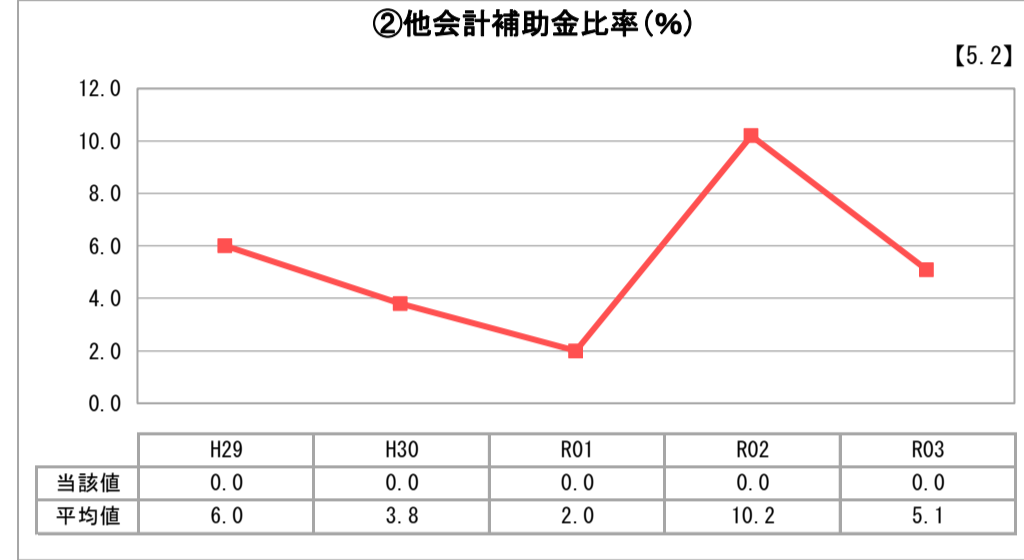
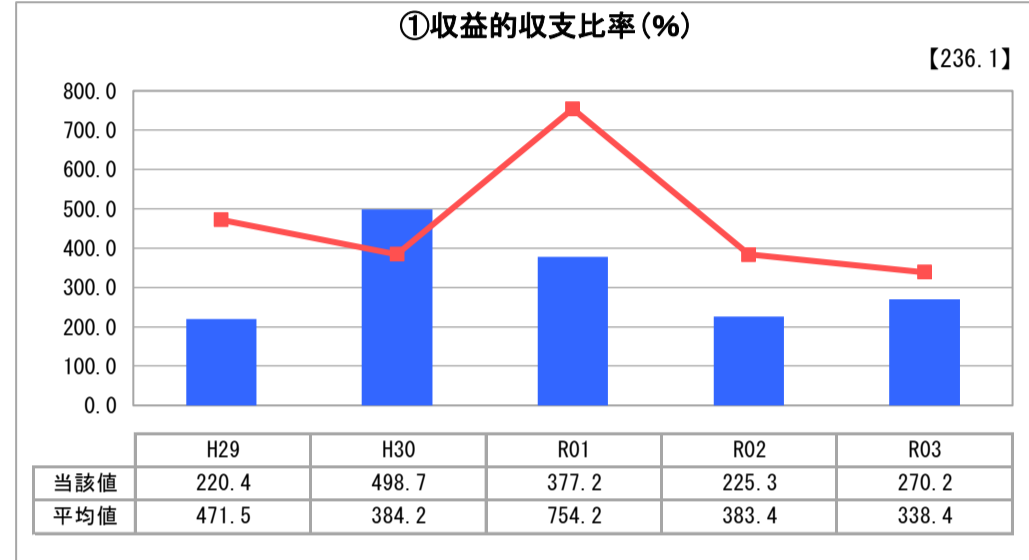
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	15	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	2,315
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
58	200	無

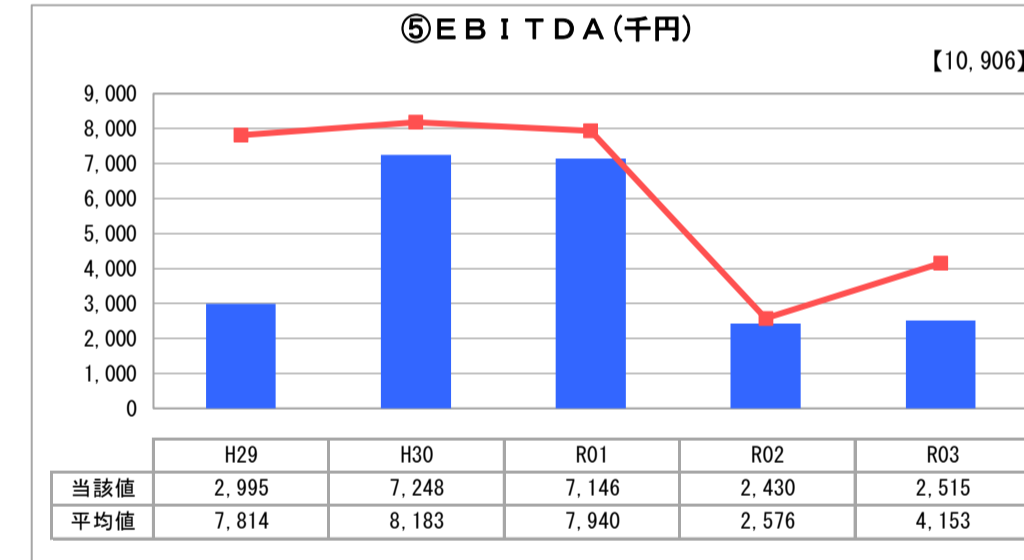
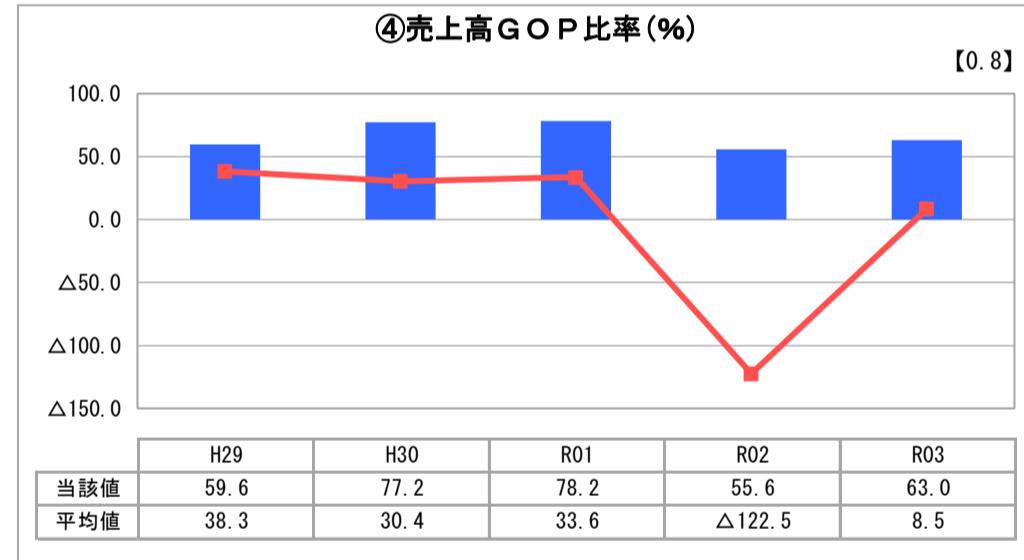
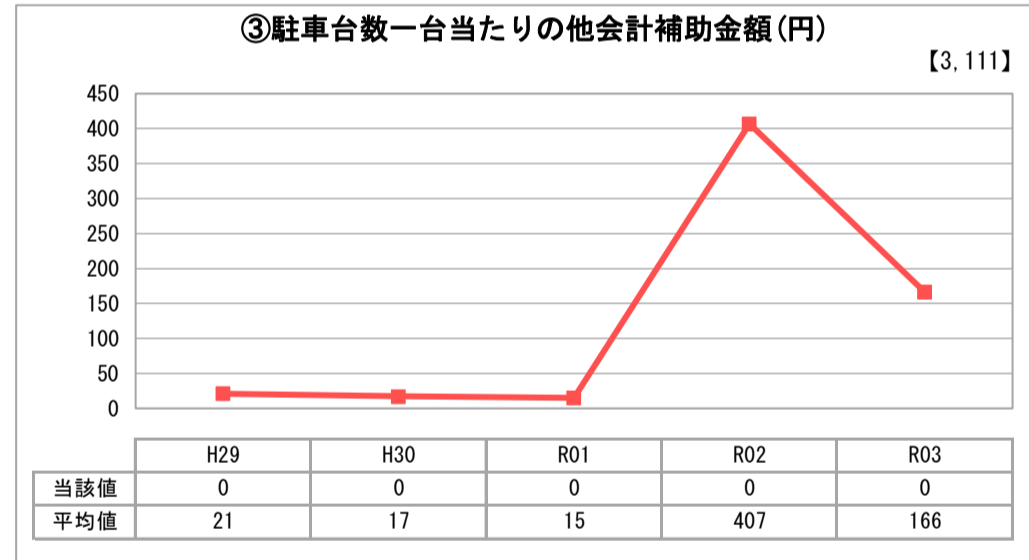
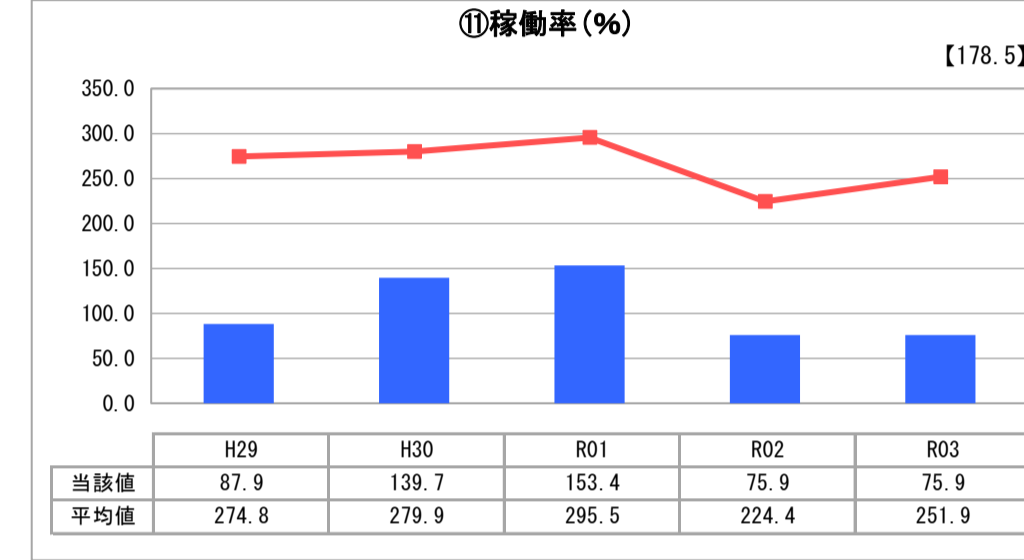
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

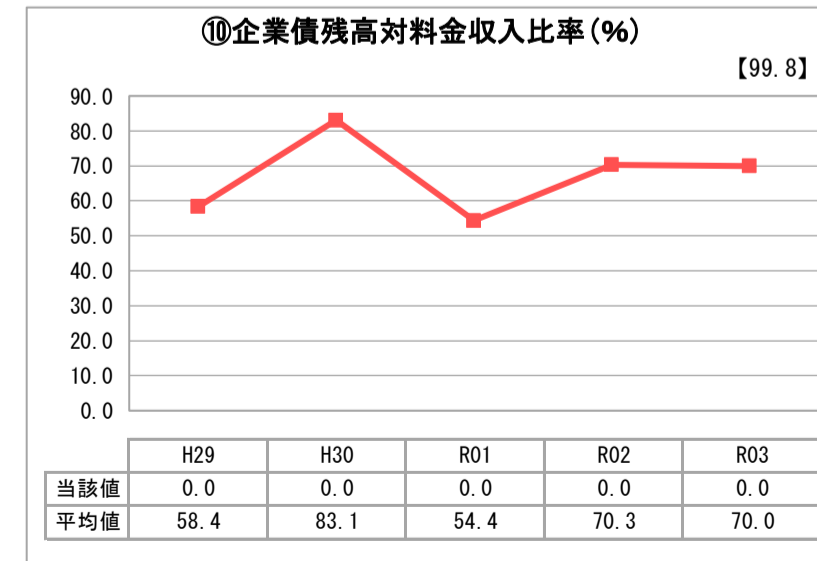


⑦敷地の地価(千円)

43,237

⑧設備投資見込額(千円)

2,520



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は、地方債を短期間で償還したことの影響により50%程度で推移し、単年度収支は赤字となっていたが、平成28年度に償還が完了したことから、平成29年度以降は黒字に転じている。

平成30年度には近隣の観光地である水木しげるロードがリニューアルオープンしたことにより、観光客が増加し、収益が大幅に伸びたが、令和2年度に新型コロナ禍の影響を受け、大きく減少している。

2. 資産等の状況について
 広場式の駐車場であり、今後の設備投資についても規模の大きなものは計画していない。
 現在、企業債の残高は無く、今後も借入の予定は無い。

3. 利用の状況について
 観光地に隣接した駐車場であり、平日の利用客が少ないため稼働率は低めの水準で推移しているが、今後も安定した利用が見込まれる。
 令和2年度及び3年度は、新型コロナ禍による移動制限等の影響を受け、利用客数が大きく減少した。

全体総括
 地方債の償還完了に伴い、平成29年度に単年度収支が黒字となった。
 新型コロナ禍により利用客数が減少したが、単年度収支は黒字のまま推移しており、実質収支についても数年後には黒字化すると見込んでいる。
 なお、観光地に隣接した駐車場であり観光施策と連携した整備・運営が必要であること、広場式の駐車場であり維持管理費が最小限となっていることから、民間への譲渡や民間活用には馴染まない。
 今後も黒字が継続することが見込まれるが、維持管理費が過大とならないよう抑制に努める。